

コロナに負けず頑張る

会長あいさつ

皆様、お元気でしょうか。ここにまちづくり協議会広報誌第8号をお届けします。昨年もまた新型コロナの問題で大変な1年でした。感染防止のため、会議がもてず、また、交流センターの閉鎖などもありました。

今年も変異株の流行など、予断を許さない状況が続いております。このような状況下で、まちづくり協議会としてどのような活動ができるのかを模索しています。その中で、感染症対策を万全に行ったうえで、小学生対象のプログラミング講座を開催するなど新たな事業に取り組むことができました。今後も既存事業の見直しも含め、できることを一歩ずつ進めていき、住みたいまち、住み続けたいまちを目指して

ともに活動していきたいと考えております。

最後になりますが、新交流センターが4月1日より開館いたします。建物の完成がゴールではありません。ここからがスタートです。地域の皆様に活用していただき、愛着を持っていただくことで、二瀬地区発展の資となることと確信しています。「交流センター」が皆様にとって身近な存在となることを祈念してあいさつとさせていただきます。

二瀬地区まちづくり協議会
会長 吉原 秀則



体育部会

みなさんの参加を待ち望む

みなさんがご存じの行事が、実は体育部会の行事だという事を知っていただきたいと思います。

基本的に体育部会の事業は、社会体育振興会の行事を継承したものであり、代表的なものは住民運動会です。そして、山笠の二瀬流も二瀬地区では体育部会に属しています。

残念ながら、両事業とも新型コロナウイルス感染症により2年間開催されていません。今年こそはコロナが収束

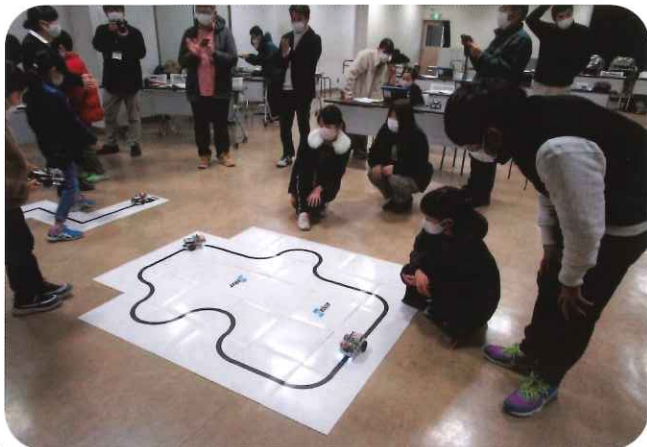
し、楽しく体を動かせる事業を開催したいと考えています。開催の際は皆様是非ご参加ください。



教育部会

子どもたちの育成を

教育部会は青少年健全育成と郷土愛を高める目的で事業を行っています。具体的には中学生を対象とした「チャレンジ学習」、また今年度より九工大留学生による「英語学習支援」を実施し



ました。

小学生には「科学実験教室」を新年、1月6日に開催しました。

さらに今年度より「STEAM教育」としてパソコンでプログラミングしてロボットを自由に操作する講座を開催しました。いずれも九州工業大学と連携し協力をいただいています。

環境部会

環境整備と防犯・防災

環境部会は、環境整備と防犯・防災活動を行っています。

環境整備は、10～11月の各自治会内での清掃活動と3月の九工大生新入生受け入れを兼ねた二瀬地区の清掃活動を行っています。その他にも、刈り払い機を3台準備しており、燃料は使用者負担で貸出をしています。

防犯・防災活動は、交流センターで

の防犯説明会や年末にハローデイ出入り口でポケットティッシュを配り、電話詐欺防止キャンペーンを行っています。また、避難所に避難された方々へのマットの貸出、非常食の準備を行うとともに、避難所に情報収集のためテレビの設置と停電対策として発電機も準備しています。



福祉部会

食育（農業体験）と高齢者給食支援

福祉部会は食育（農業体験）と高齢者給食支援を行っています。

農業体験は、平成26年から伊岐須小学校6年生を対象に行っていましたが令和2年以降は、新型コロナウイルスで実施できず、令和4年以降も状況が不透明であることと、一定の成果を上げたことから事業の終了を決定しました。多くの方々からご協力いただき、誠にありがとうございました。

給食支援事業は、二瀬ボランティア

若草会が主体となり、献立・味付け・カロリー計算などこだわった手作り弁当を配布しています。また、新型コロナウイルスで実施できていませんが、ふれあい給食会も行っています。

来年度は、通常通りの事業ができるように祈っております。

